

「追加資料」

ハムフェア 2015 自作品コンテスト作品送付書

作品名：自作で楽しむ 40m QRP AM トランシーバー(JR8DAG-40AM2015)

参加部門：規定部門

応募者：菅野 正人 (かんの まさと) コールサイン：JR8DAG

連絡先住所：

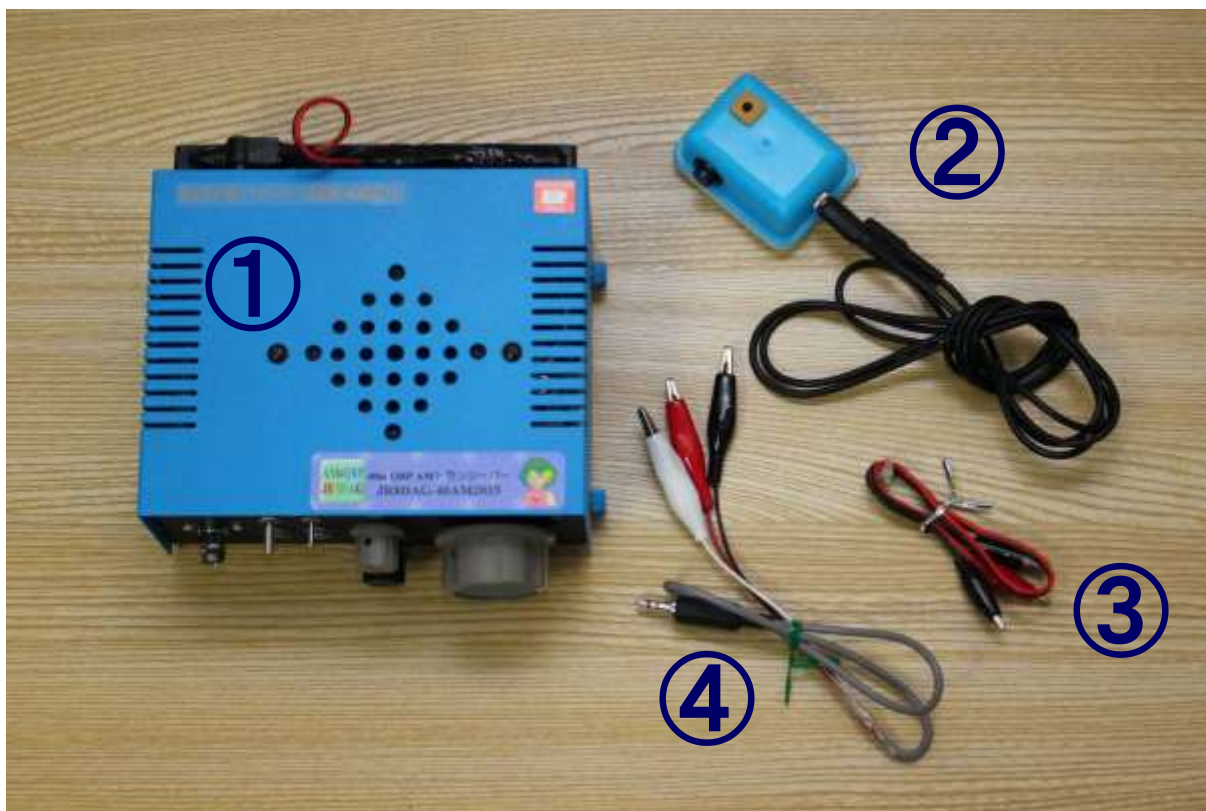
電話番号：

E-mail：

送付品内訳

- ①本体(単3型ニッケル水素電池 10本を含む)
- ②外部マイク(ケーブル含む)
- ③電源ケーブル
- ④測定ケーブル
- ⑤追加説明文(本ページ含め4枚)
- ⑥展示用説明文(A4版1枚)

◎本作品の内容



【本作品の操作】

各操作の概略を以下のとおり示す。

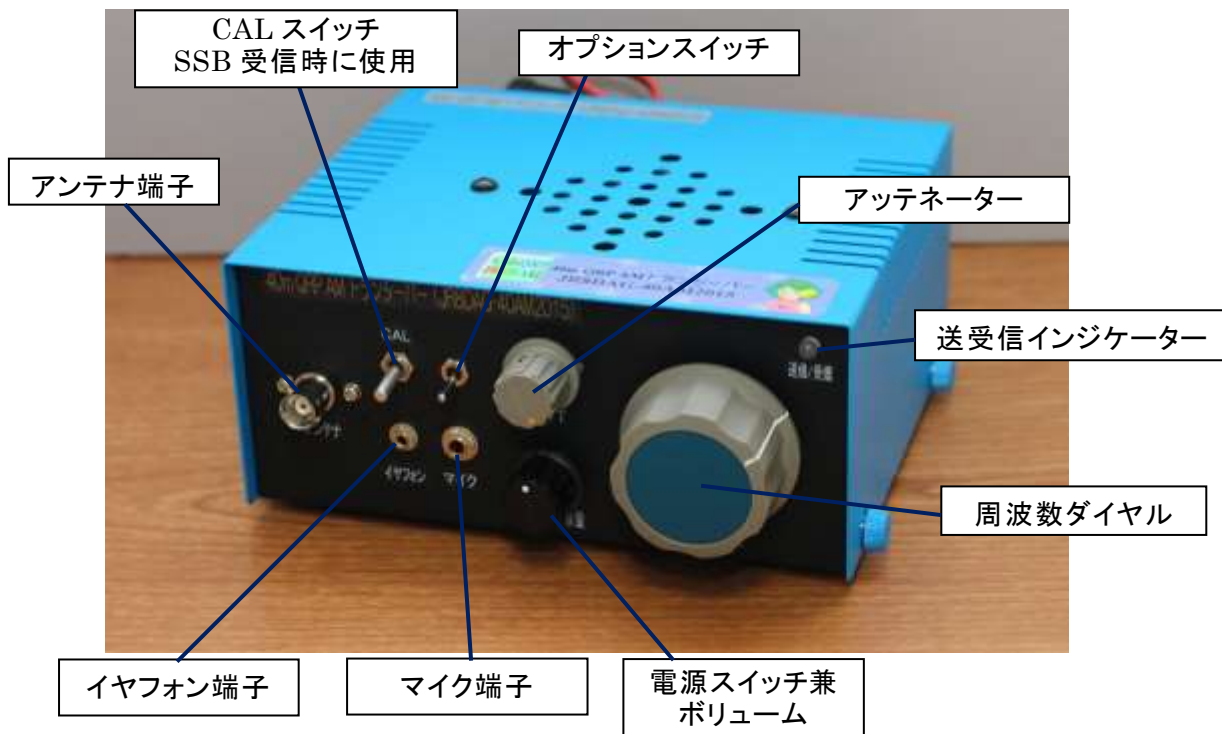


図-9 前面パネルの操作

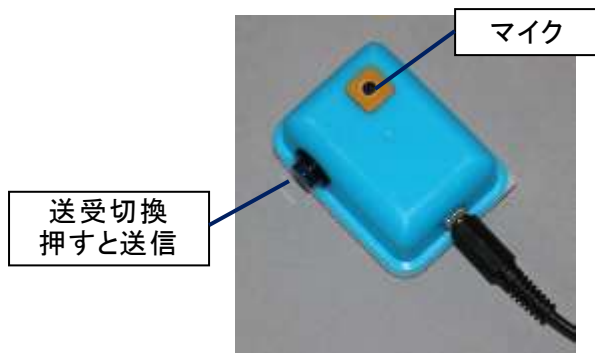


図-10 外部マイク

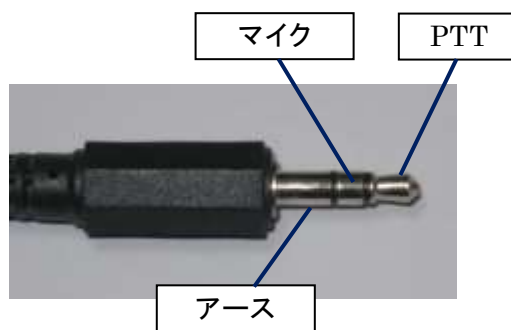


図-11 外部マイク端子の接続 (3.5φステレオプラグ)



図-12 外部電源端子の極性 (内側が+)

本作品は背面に 2.1mm 径の外部電源端子を備えている。通常は単 3 ニッケル水素電池を接続しているが、外部電源も利用できる。内部が+、外側が-である。

◎動作試験にあたって

郵送は単3ニッケル水素電池を搭載した状態で行います。ただ、電池には動作防止用のスナップをつけておきます(写真下の黄色丸)。下の写真はニッケル水素電池を取り付けた状態です。

付属のニッケル水素電池は充電状態で郵送していますが、自己放電のために電池がなくなっているかもしれませんので、動作試験は外部電源に13.5Vを供給して行っていただくとありがたいです。電源の極性はNo.2に示したとおり、内部が+、外側が-です。



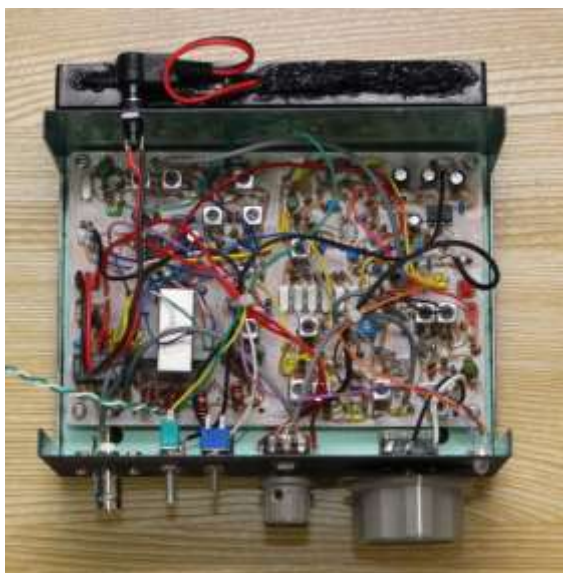
ニッケル水素電池を取り付けた状態

◎内部の様子を確認する方法について

内部の様子を確認する際は、本体横のねじをはずします。ふたの向きについては、以下の写真のとおりですが、ケースの内部にも向きを示しています(次ページの写真の黄色丸)。



横の○印のねじ(4カ所)をはずします



内部の様子



ふたの取り付け方向を明示

◎本作品による交信実績

2015年4月から運用を開始し、2015年5月20日時点で1,7,8,0エリアの5局と交信できた。これまで出力0.5W以下の本作品以外の自作機で7MHz AM運用を行っているが、電離層反射による遠距離交信が可能であることがわかっており、本作品の運用面での実用性は十分にあると考えている。

◎お願い

今後の製作の参考資料としたいので、ハムフェア終了後、作品返却の際に採点結果、動作試験の測定データをあわせて送っていただければありがたいと思います。



JR8DAG/菅野 正人